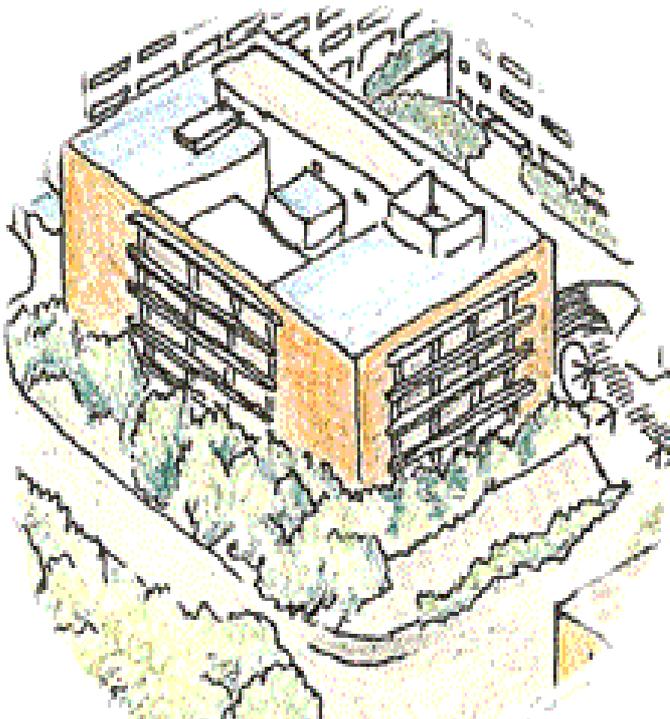


# Library Information No.18

2006年3月

(注) 今号からWeb版になりました。PDFファイルをご覧いただくためには、アドビ社のアcroバットリーダーが必要です(無料)。



## 目次

この一年をふり返って.....	1
大阪外大附属図書館との連携を通じて.....	3
新文庫紹介.....	5
寄贈図書紹介.....	5
附属図書館の平成18年度計画.....	6
本学教員著作寄贈図書紹介.....	6
テーマ展示第二弾.....	7
シリーズ：貴重図書紹介(1).....	8
図書館ホームページの更新.....	9
投書箱「きくみくん」への手紙回答集.....	10
平成17年分類別貸出状況.....	17
利用統計.....	18
学生への貸出数	
教職員への貸出数	
学生一人当たり年間貸出数	
入館者総数	
年間開館日数	
一日平均入館者数	
平成17年貸出ベスト30冊.....	19

## この一年をふり返って

附属図書館長 橋本 勝



昨年(2005年)3月1日に附属図書館長を拝命し一年が経った。国立大学が法人化して早や二年になろうとしている。各部署毎に中期計画に基づく年度計画実施が果たされなければならないわけで、我が図書館としても館員一丸と

なって、その遂行に当たってきた。附属図書館内部の現有施設を有効に利用し整備することにより、閲覧席や書庫の狭隘の点の緩和が図られ、情報機器及び学習支援の機能も強化された。また新聞雑誌の収

書方法の見直しも行われて、教員の近年出版された著書の展示も行われた。利用者のための図書館情報リテラシー教育の実施プランに基づき、各種講習会を実施した。広報媒体の内容の見直しも行った。これらの事項は、いずれも平成17年度の年度計画に盛り込まれていたものである。計画通りに実施されたことは幸いである。

本年度の一番大きなイベントは、附属図書館特別展「シルクロードの文化の旅 - 西から東へ -」であった。2005年10月3日(月)～10月15日(土)(日・祝日は休館)に亘って開催された。広く市民に公開されて大変好評を得た。広報活動は必ずしも

十分とは言えなかったが、その割には参加者の数も多かったと言ってよい。貴重図書室に所蔵されているものの中から 25 点ほど選定し公開したものである。中には本邦唯一のものもあった。例えば「百二十人老人語録」(18 世紀末の作)がそれである。清朝皇帝の一人、乾隆帝の時代に多くの満州語文献が出版されたが、その殆どは漢文献からの翻訳であった。この文献は、満州語で書かれ乾隆時代の満州族の日常生活の実態を描写した文献であり、極めて貴重な記録と言える。また、本学所蔵のモンゴル語訳「大般若経」の写本十二巻あるうち、第一巻を展示したが、その翻訳に従事したのは、明代の仏僧、ゲーシ・マンジュシリ・チョルジワ、これもまた貴重な文献である。詳しくは「シルクロードの文化の旅」解説に譲ることとする。

なお、選定にあたっては、森茂男教授に大変お世話になった。この機に改めてお礼を申し上げたい。夏期休暇中にもその準備のため、尽力された館員の方々にも感謝する次第である。

また、その後、1ヶ月も経たずして附属図書館のリニューアルを記念した特別展を開催した。開催期間は11月8日(火)～11月29日(火)(日・祝日は休館)であった。テーマは、「1. 江戸から明治初期の辞書展 - 辞書からひもとく日本の異国理解 2. 江戸時代の本学所在地粟生間谷 - 撰津國島下郡粟生村間谷名寄帳ほか」であり、地域に密着した外大らしい有意義な展示会となった。我が図書館が地域住民にも親しいものとなり、このような展示会の開催の要望が外大の内外より出てきていることは、大変喜ばしいことである。

目録関係の出版物にも触れておきたい。この一年間に出版したものとしては、大阪外国語大学所蔵「今井

義夫文庫目録」(2005年3月刊)及び同所蔵「伊地智善継文庫目録」(2005年9月刊)がある。いずれも数年間の作業の努力の末、完成したものである。これらの目録刊行により、ロシア社会思想史及び中国語学、中国語教育の面で広く内外の研究者に活用されていくことは意義深い。現在も多数のまとまった寄贈書(韓国語関係)があり、その整理・分類が進行中である。昨年3月の段階で本学図書館には60万冊を超える図書及び4,000種類以上の雑誌が所蔵されている。毎年、どんどん増え続けているが、改修などの工夫によっても絶対的スペースは足りず、全学の図書資料の図書館への集中配置は、事実上不可能な状態である。抜本的な打開策を望むところである。

地域連携の一環として本学図書館は、箕面市、豊中市の図書館と交流し話し合いの場を何度か持っていた。昨年9月26日～10月1日の期間に箕面及び豊中の市民を対象とした外大図書館見学会がオンラインブライリーというタイトルで実施された。両市民併せて約70名の参加者があった。両市民の外大への親近感を増したことは大変意義深い。さらに昨年11月には、大阪外大と箕面市との間に包括的な協力協定が結ばれ、本学図書館と箕面市立図書館との間に連携が具体化することになった。両図書館の特色を相互に活かし補う形で所蔵資料の利用が可能になった。このように公共図書館との連携が具体化する上で箕面市立中央図書館長、黒田氏をはじめ多くの職員の方々が熱意を示されたことに感謝したい。

本学の近未来は、統合再編問題を抱えて前途多難が予測されるが、我が附属図書館は、これからも本学の知の要としての役割を地域との連携を密にしながら強めていかなければならない。



特別展「シルクロードの文化の旅」鑑賞風景

特別展「江戸時代から明治初期の辞書展」

「蘭学階梯」大槻玄沢撰 1788年



# 大阪外国語大学附属図書館との連携を通じて

箕面市立中央図書館長 黒田 正記



はじめに

平成 17 年3月、大阪外国語大学附属図書館（以下外大図書館という。）の三村事務長から、箕面市立図書館に対して連携の働きかけがあった。

その主旨は、学生を対象に実施した外大図書館

利用アンケートの結果、学生は外大図書館だけではなく、大阪外国語大学のある箕面市の公共図書館を活発に利用していること、そして大学図書館の蔵書構成として読み物や話題の本が少ないことに対する不満が多いとことが明らかになったので、外大図書館として外大生のニーズに対応するため、公共図書館との連携の道を探りたいということであった。

4月には、豊中市立図書館の伊藤館長及び三村事務長が中央図書館へ来館され、改めてアンケート結果の説明と学生のニーズに対して外大図書館として対応していきたいという思いを聞かせて貰うこととなった。学生への支援策として公共図書館との連携により、より充実した図書館サービスが図れるとの考え方もお聞きした。

お互いの特性を生かす連携を

一方、公共図書館が抱えている課題は、多様な市民の利用により入門書から専門書までの幅広い対応が求められているが、予算に限りがあり専門書などは十分に収集できていない弱点があること、電子情報の活用にもまだまだ不十分な点があることなどであった。大学図書館が持つ利点を地域の市民へ提供して貰うことで、多様な図書館サービスを市民が享受できるのではないかと感じた。

その協議の中で、大学図書館は教員や学生の資料調査への支援が主な役割であり、そのことから資料は専門書を多く所蔵していることや、電子情報の活用が図れていることの特徴があった。一方、公共図書館は市民のニーズを踏まえることにより話題の新刊書や小説類を多く収集しており、その両者の特

性を生かす形での連携の道を探ることとした。

その時の課題として、学生や教員などへの公共図書館の資料の提供及び配本をすること、外大図書館の所蔵資料を市民に貸し出しすること、公共図書館のレファレンスに対して電子情報などを活用して外大図書館から支援すること、連携を深めるため両図書館の職員の交流（研修）を行うこと、外大図書館を市民に知ってもらう取り組みすることなどであった。

まずは、知り合うこと

その後、公共図書館から私と職員が外大図書館を訪問し連携に係る協議を行い、外大図書館を見学させていただき、貴重書のコレクションなど外大図書館の持つ資料と公共図書館が持つ資料との違いを実感した。改めて、外大図書館の資料を市民に貸出できれば、市民の学ぶ場、知識・情報を得る場としての役割が期待できるとの思いを強くした。

連携をするということは、業務を進める上で日常的に職員が連絡を取り合い、お互いに支援し合う関係を創ることであるという認識を、両図書館で確認した。そのため、顔と名前が一致する関係をつくるのが大切ということから、8月31日に中央図書館で公共図書館と外大図書館の職員交流会を開催した。公共図書館から5名、外大図書館から7名が参加し、参加者の自己紹介と、それぞれの図書館サービスの概要と図書館サービスの課題について報告した。そして、中央図書館の施設見学も行った。

オープンライブラリーの実施

地域に親しまれる外大図書館の取り組みとして、9月26日(月)から10月1日(土)にかけて箕面市民及び豊中市民を対象として、外大図書館見学会をオープンライブラリーと称して実施することとした。その受付は箕面市と豊中市の図書館で行い、案内を外大図書館で行うこととした。結果として、箕面市民43名、豊中市民26名が参加し、参加者も10代から90代までの幅広い年齢層であり、その反応も大変良いものであった。

オープンライブラリーの実施にあたり行ったア

ンケートによると、市民から外大図書館の資料の貸出を希望する声や、AV資料の視聴を期待するものも多くあり、市民の要望について、外大図書館の課題として受け止め検討することとなった。この取り組みを通じて明らかとなったのは、市民が身近にある図書館への潜在的な利用要求を持っているということと思う。

箕面市との包括協定を踏まえて

11月1日に箕面市と大阪外国語大学の人的・知的交流・活用を図ることにより、まちづくりの各分野で協力し、地域の発展と人材の育成において相互に協力・支援することを主旨とした包括協定が結ばれたことを踏まえ、外大図書館と公共図書館で連携のあり方を更に深めることとした。

その内容は、外大図書館の学生、教員及び職員は公共図書館の蔵書の内インターネット予約した資料を外大図書館のカウンターで受け取ることができる、外大図書館は、市民に対して資料の貸出をする、一方の図書館が所蔵をしていない資料で、一方の図書館が所有している資料があれば相互貸借し利用者へ提供する、資料の物流については、当面週1回とし公共図書館が行う、そのサービスの実施時期は平成18年2月1日から実施するというものであった。平成18年1月27日にこの内容を覚書として双方で署名し制度を実施することとした。

まとめ

国会図書館の閲覧室の壁に「真理がわれらを自由にする」と書かれています。人は知識を得ることで真理を知ることができます。その真理は、様々な束縛から私たちを自由にします。また、図書館が持つ資料を市民に提供することは、市民の知る権利の保障であり、いうまでもなく図書館は地域の民主主義を根底で支えるものです。

外大図書館と公共図書館との連携は、橋本館長、三村事務長をはじめ職員の皆さんの努力のお陰で、大きく前進しました。このことについて、私は心から敬意を表しています。お互いの図書館で働く職員がそれぞれの業務の枠を超えて、連携することで地域の民主主義を支えるパートナーとして歩み出しことを嬉しく思っています。まだ、始まったばかりの制度ですが、利用する外大関係者や市民がその制度をどのように育てていくのかが、問われていると思います。勿論、私たちは、この制度を大きく育てていく努力をする必要があると考えています。そのため今後は、電子情報の活用や、外大図書館でのインターネット予約資料の受け取りは外大関係者に限定していますが、外大図書館で市民も公共図書館の資料を受け取ることができる制度などへの充実が課題となると思っています。双方の努力で始まった制度を更に充実したものにすることが、問われているのではないのでしょうか。



## 新文庫紹介

### 今井義夫文庫

既に利用に供され、利用者も多い「今井文庫」が、これまで『Library information』に紹介されていなかったもので、ここで簡単に解説します。

今井文庫とは、ロシア社会思想史・協同組合研究者であった故今井義夫氏の旧蔵書を本学図書館が文庫として受け入れたものです。蔵書の内訳はロシア語図書1,738冊、英語図書1,447冊、和書2,523冊、雑誌 203タイトル、研究資料リストからなるコレクションです。

今井文庫は、2002年度(平成14年)の国立大学大型コレクション(ロシア社会思想研究コレクション 故今井義夫旧蔵コレクション)として2,406点の購入が認められ、その後ご遺族から旧蔵書のすべてを寄贈されたという経緯があります。詳しくは、『今井義夫文庫目録』所収の「今井さんと書物」中村喜和一橋大学名誉教授、「今井義夫さんのこと」本学田中泰子名誉教授、「今井文庫に寄せて」本学学生田美智子教授をご覧ください。

今井文庫の全資料は、『今井義夫文庫目録』(2005年3月大阪外国語大学附属図書館発行)として纏められ、2階の書誌コーナー(請求記号 029|147|)で閲覧が可能です。

### 伊地智善継文庫

本学元学長の故伊地智善継氏のご遺族から譲り受けた図書 5,945冊を収めています。

蔵書の内訳は、中国語 3,905タイトル(4,527冊)和書 1,321タイトル(1,358冊)、洋書 58タイトル(60冊)です。

伊地智先生の中国語の研究と教育、またお人柄については、本学中国語専攻の杉村博文教授が、Library Information No.16にて説かれていますのでご覧ください。

本文庫はすでに利用されていますが、文庫目録が完成し、内外の研究者に広く活用されていくことを期待しています。

## 寄贈図書紹介

### 朝鮮語(ハングル)言語学関係

昨年の11月、故藤沢文人信州大学教授の蔵書を本学附属図書館へ寄贈したい旨の依頼がありました。藤沢文人教授は、愛知教育大学を卒業後、15年間にわたり韓国でハングルの研究に精励され、慶北大学校博士課程を修了されました。日本で韓国語についての研究を続けながら、日本の学生に韓国語を教える希望をもっておられましたが、2003年病に倒られました。ご遺族は、故藤沢教授の遺志に合う韓国語を教育・研究する本学への寄贈を希望され、図書館で受け入れることとなりました。

図書の内訳は、言語学を主題としたハングルで書かれた図書が663冊、日本語で書かれたものが95冊、ハングル辞書はハングル現代語、古代語、方言など多岐にわたります。

故藤沢教授本人の著作『現代韓国語の形態論研究(タイトル、本文ともハングル)』(啓明大学校出版部1996年出版)も含まれています。

本学が所蔵するハングルで書かれた言語学関連の図書が、この寄贈により充実しました。故藤沢文人信州大学教授の寄贈図書は、4月からハングル入力検索できるよう整備も完了しましたので、利用をお待ちしています。



# 附属図書館の平成18年度計画

附属図書館では、学習支援機能の強化のため18年度計画として次の五つの事項を計画し、実施に努めます。

1. 開館時間帯及び開館日の見直しを検討する。  
利用者のニーズや利用状況等を踏まえ、更に改善を進めます。
2. 音声ブースの機器等の更新により、利用環境の整備を図る。  
17年度では、16年度に実施した利用者アンケートを基に要望の強かった事項を中心に、次の整備を行いました。
  - 3階閲覧室の増設（48席増）
  - 検索用パソコンの更新
  - 自習室2室の設置
  - グループ学習室2室の設置
  - ブラウジングルームの改装
  - 閲覧室や自習室でパソコンが使えるよう電源を確保（合計37席）
  - 書庫内入室のためのロッカー設置
  - 1階自習室及び2階ブラウジングルームの照明の更新（明るくなりました！）
  - 3階閲覧室の壁の塗り替え
  - 自動貸出機を自動貸出返却機に更新
  - 1階自習室に無線ラン設置（図書館以外の部署のご好意で設置）
 今年度は利用環境の整備に重点を置いて改善を進めます。

3. 教員と協力して情報リテラシー教育の本格的実施に向けた準備をすすめる。  
図書館が行う情報リテラシー教育が、どのような内容でどうあるべきかを、図書館職員と教員が協力して検討を進めます。
4. 利用者の要望に即した多様なガイダンスを実施する。  
より一層、効果的に図書館をご利用いただくため、多様なガイダンスを計画し、実施します。
5. 附属図書館において、昨年度の検討を基に、図書館の地域貢献を進める。  
平成17年度に箕面市及び豊中市の市立図書館の協力を得て、オープンライブラリーや特別展を開催しました。箕面市立図書館とは更に協力関係を進め、箕面市立図書館の本を学内で受取ったり返却できるようになりました。また、箕面市に在住、在勤、在学されている方には、本学の図書を利用（貸出）していただくことが可能となりました。  
このような地域貢献の歩みを、更に二歩、三歩と進めていきます。

## 本学教員著作寄贈図書紹介

附属図書館では、教員より寄贈された著作物を中心に「教員の著書コーナー」（2階閲覧室）を設けて展示しています。ここでは、平成17年4月以降に教員より寄贈された著作物をご紹介します。  
平成17年4月～11月に寄贈された図書(以下、寄贈者名[敬称略]の50音順、寄贈図書の請求記号順)

教員氏名	書名	出版年	請求記号	内容
杉田米行	人文社会科学とコンピュータ	2001.5	014.9  17 2	インターネットの普及率は高まっているが、インターネット上には情報が氾濫している。どのようにすれば必要な情報を得ることができるのか、インターネットを実践的有効利用するための方法を具体的に示している。
杉田米行	アメリカの歴史：テーマで読む多文化社会の夢と現実	2003.1	253  243	アメリカ建国期から現代までをカバーし、テーマ別に複雑なアメリカの歴史が整理され、写真、地図、チャートなども豊富に活用された書。

教員氏名	書名	出版年	請求記号	内容
杉田 米行	アメリカ社会への多面的アプローチ	2005.9	302.53   249	アメリカ社会研究界で実績のある研究者が、平易な表現で一般読者対象に書き下ろしたアメリカ研究入門書。政治・人種・医療・大衆文化・文学など17通りのアプローチによってアメリカ社会を理解することを試みる。
杉田 米行	ブッシュを採点する：内政と外交の政策評価	2004.5	312.53   295	ブッシュ政権が米国および世界に及ぼした影響を政策、権利、制度、外交の面から分析している。
杉田 米行	北朝鮮をめぐる北東アジアの国際関係と日本	2003.9	319.1  478 	アーキテクト社「日朝会談モノグラフシリーズ」(スモールワールド学術文庫)で刊行されたものから抜粋した論文集。
杉田 米行	アメリカと日本の奇跡	2001.6	332.53   212	1950年代を一つの特徴ある時期としてとらえ、一次資料を基に冷戦初期における日米の同盟関係と日本の経済復興を総合的にとらえている。
杉田 米行	最新「MBAプログラム」コアガイド(図解入門MBA No.1)	2004.5	335  403  	MBAプログラムの全体像を広く概観した書で、MBA取得を目指す人、MBAについて知りたい人に最適なMBAハンドブック。
杉田 米行	史上最強の最新時事完全攻略	2005.11	335.9   303	最新の時事問題・時事用語の攻略本。就職試験対策や大学生としての一般常識を身につけるための参考書。「国際情勢」の項を担当。
杉田 米行	the selling of 9/11 : how a national tragedy became acommodity	2005	361.4  845 	様々な角度から検証した論考集。タイトル日本語訳は「9/11という国家的悲劇はどのように商品化されたか?」杉田先生執筆箇所は"The Comfort Zone : Japan's Media Marketing of 9/11"(日本のメディアは9/11をどのようにして日本に売り込んだか?)
杉田 米行	インターネットの効率的学術利用	2004.3	549  221	大学コミュニティとその周辺に読者ターゲットを絞り、レポートや論文を執筆するときに役立つノウハウやインターネットを利用した就職活動、さらには実社会で報告書を書いたり調査したりする場合にも参考になるような内容になっている。
杉田 米行	英文ビジネスEメールの鉄則と極意	2003.9	670.9  187 	ビジネスの現場を想定した英文Eメールの解説書。構文解釈の基礎からビジネスレターのマナーまで、およそ100のシチュエーションと添付CD-ROMも含めた2000の例文で詳細かつ必要なときにすぐ引き出せる構成の実用例文集。
杉田 米行	どうする日朝関係	2003.9	319.1  479 	朝鮮半島問題の世界的権威、Bruce Cumingsの"North Korea : Another Country(New Press, 2004)"の全訳。アメリカの北朝鮮政策を論じる際の一助となるよう、北朝鮮とアメリカとの関係、歴史について考察している。
杉田 米行	S.G. 上海ガール	2002.4	933.7   1369	本学卒業生との共訳。上海とニューヨークを舞台に、主人公のシアフェイ・ホンという中国人女性と、中国生まれのアメリカ人、白人の弁護士3人の過去の因縁が複雑に絡まりあう物語。
木内 良行	フランス語の統語論研究：関係文法の限界と可能性	2005.10	855.9  36 	フランス語の受動文、使役文、非人称文、副詞句のコントロールなどに関して、従来関係文法で示されてきた説明を検討して、新たな記述の可能性を目指したもの。
染田 秀藤	Apologia e historia	2005	255  162 	大航海時代の幕開けの時代に自国スペインが押し進める「新大陸」征服・支配の非人間性と不法性を暴いたラス・カサス(1484-1566)の行動と理論の現代性を解明したもの。
染田 秀藤	ラテンアメリカの歴史	2005.5	255  163 	現代のラテンアメリカが直面する問題群の原点を読み解くため、土着文書を含む膨大な数の史料を厳選して紹介する本邦最初のこころみ。
福岡 まどか	ワヤンの広場(みんなく発見;8)	2004.3	777  85	インドネシア・ジャワ島の影絵芝居と、東南アジアの様々な地域の人形芝居や仮面劇を紹介した本。国立民族学博物館東南アジア展示場の中にある「ワヤンの広場」というコーナーの展示案内。

## テーマ展示第二弾

### 「功名が辻」と 司馬遼太郎関連図書展



#### ・展示期間

平成一八年三月一日(水)～  
四月二十八日(金)

#### ・展示場所

二階カウンター前

#### ・貸出もできます。

阪外大図書館が皆さんに図書館の本を紹介するテーマ展示第二弾は「功名が辻」と司馬遼太郎関連図書です。「きくみくん」に寄せられたご意見を採用させていただきます。

今年の大河ドラマは司馬遼太郎氏原作「功名が辻」です。司馬氏の著作の中でも戦国時代や土佐を舞台としたもの、土佐の風土についてのエッセイを中心に紹介します。

# 石濱文庫の拓本資料

国際文化学科助教授 堤 一昭

本学附属図書館所蔵の特殊文庫に石濱純太郎博士の旧蔵書「石濱文庫」があることはよく知られている。4万冊あまりの膨大な量と質の東洋学の図書として紹介されるのが常である。だが図書以外にも、拓本やその他写真・研究過程を示すノート、書簡など研究資料も多数含まれる。こちらは、図書ほどは知られていないようである。

平成16年から附属図書館に貴重図書問題専門委員会が設けられ、本学所蔵の貴重な図書・資料の再調査にむけた作業が開始された。委員として貴重図書室や書庫を一覧するなかで、調査の必要を最も感じたのが、この石濱文庫の拓本資料であった。

拓本は、中国・日本では書道鑑賞・研究、歴史研究のための資料とされてきている。特にもとの器物に紙を直接当てて採った拓本は「原拓」と呼ばれ、現在にいたるまで単なる資料として以上の価値、美術品の一種としても尊重されてきた。石濱文庫の拓本は大部分が「原拓」であると思われる。貴重な研究資料として、ここに概要を紹介したい。

石濱文庫は譲り受けられてから十年の歳月をかけて整理され、『大阪外国語大学所蔵 石濱文庫目録』が編纂・刊行された。1977年(昭和52年)3月発行のもの(青色の紙装丁。以下「目録A」と)、1979年(昭和54年)3月発行のもの(布貼り装丁で箱入り。以下「目録B」)の二種である。本学はじめ諸大学図書館等に備えられているのは後者である。この二種の目録中、拓本資料は以下の箇所に記載されている。

「目録A」: 「漢籍の部」(62頁)C子部第九藝術類 一書画之属 拓本[17点(18点載るが、1点は次の篆刻之属に属するもの)]; 「写真の部」図版 pp.435-471, p.478 [下段に画像石の拓影], p.491 [下段に契丹文字資料]

「目録B」: 「漢籍の部」(76~77頁)C子部第九藝術類 一書画之属 拓本[24点]; 「写真の部」図版 pp.434-455; 「写真の部」目録 pp.492-500 [写真図版(p.492)・写真・影印本も含めたリスト。全161タイトル。うち原拓と思しきもの126タイトル。1タイトルに相当点数の拓本を含むものあり。]

「目録B」は「目録A」の増補改訂版と考えられるが、拓本資料の記載についていうと関係は単純ではない。「漢籍の部」の記載は「目録B」が「目録A」のものを全て含むので、「目録B」のみを参照すればよい。だが、「写真の部」図版は両目録の体裁は異なり、「目録A」のほうが所載点数がかなり多い。両目録の図版とも参照する必要がある。

「写真の部」目録は「目録B」のみである。

A・B両目録中の上記箇所に基づいて、資料の種類や時代等により分類を試みるとおおよそ以下のようになる。

- 1.漢代から唐代の名碑
- 2.法帖
- 3.龍門石窟の造像記
- 4.北朝隋唐の墓誌銘
- 5.非漢語刻文のものを含む石刻群
  - (1)契丹文字哀冊(慶陵出土)
  - (2)女真文字石刻(大金得勝陀碑ほか)
  - (3)モンゴル時代石刻(蒙漢合璧碑・居庸関石刻ほか)
- 6.石経
- 7.漢代画像石
- 8.金文・銅鼓など青銅器
- 9.日本金石文
- 10.その他

1.漢代から唐代の名碑、2.法帖は、「漢籍の部」記載のものである。前者としては漢碑「孔廟置百石卒史碑」や唐碑「孔子廟堂之碑」等が、後者としては「快雪堂法書」等が載る。主に書道研究のための「剪装本」の体裁のものである。

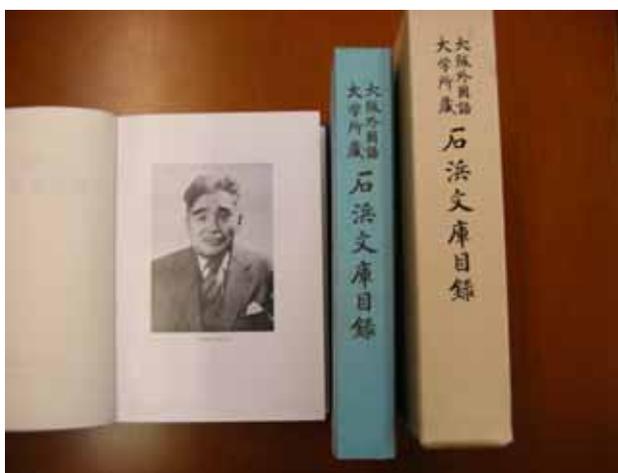
3以下は、「写真の部」に記載される一枚物の「整拓」で多種多様である。

3.龍門石窟の造像記は、この拓本資料中最多と思われる。「目録B」「写真の部」記載の点数を単純に加算すれば800点以上もの所蔵となる。4.北朝隋唐の墓誌銘も30数点以上ある。5.非漢語刻文のものを含む石刻群は点数こそ少ないが、チベット、契丹、女真、モンゴル、西夏など石濱博士の研究分野を反映したものであり、著名・重要なものが揃っている。6.石経は、易経・毛詩・周禮・儀禮・禮記・春秋経

傳集解（左氏傳?）・春秋公羊經傳・御注孝經・論語・爾雅と十種の經書が載る。どの石經かを特定することが必要である。7.漢代画像石, 8.金文・銅鼓など青銅器, また9.古代から明治に至る数点の日本金石文は、現時点では存在を指摘するのみに止めたい。10.その他として、上記に分類しがたいものも幾つかあることは言うまでもない。

上記分類のうち、1, 2 は複製本も含まれるようだが、「写真の部」に記載される 3 以下の拓本はほとんどが「原拓」と思われる。それ自体が採拓時点での原石の状況を示す記念物であること、現在「原拓」を新にここまで収集することは困難であることから、石濱文庫の拓本資料は価値あるものといえる。

2種類の石濱文庫目録



拓本整理はきわめて手間のかかる作業であり、文庫目録中の成果から出発できることに感謝したい。ただ恐らくは時間が切迫した中での作業のためであろう、図版説明の位置や順序をはじめ記載項目の体裁、配列、校正等について、実は修正の余地が多々ある。

石濱文庫の拓本資料にどんな種類のものがどのくらいあり、各々が何なのか（題名、著者、立石年代、また原拓か模拓・写真・影印本等々）を目録の成果を承けつつ、石刻書等が参照しやすくなった現在のより恵まれた状況のなかで、今後明らかにしていくことが必要であると考えている。研究プロジェクトを組んだ総合的な調査を望むものである。

北京近郊の房山で発見された十字寺景教石刻の拓本



## 図書館ホームページの更新

この三月に附属図書館のホームページを更新します。これまでご覧いただいていたホームページは、図書館職員が協力して作成したもので平成一四年一〇月にアップしました。シンプルで朴とつとしたデザインに一定の評価をいただいていたが、更新の難しさ等から内容的に古さが目立つようになり、この度一新することとなりました。

更新に当たっては、複雑になっていたサイト構成を見直し、利用される方にわかりやすいということを中心に置いて進めています。なお、今回は外部に依頼して作成していますので、デザイン的にも洗練されたものになるものと期待されます。また、今回も外大カラーである臙脂色を少しですが残していますので、大学ホームページから入ってきたときに、違和感も少ないのではないのでしょうか。

主な改善点は以下のとおりです。

- 一、サイト構成を浅くし、トップページに利用者が必要とするコンテンツの主な項目を載せます。下層に入って探すことが少なくなります。
- 二、携帯サイトを作成します。
- 三、広報紙を [M@](#) 版で発行する他、図書館関係規程集や図書館の年度計画等の活動状況を載せます。

## 投書箱

# 「きくみみくん」への手紙

## 回答集



投書箱「きくみみくん」が誕生して3ヶ月（2月末現在）。「図書館のことなら何でもお聞き下さい」とおおきな耳をそばだてて聞いてみたところ、様々な意見、要望、苦情など53通もいただきました。「きくみみくんへの手紙」をいただいた翌日には回答を掲示板に貼りだそうと努力しましたが、実際は数日経ってからのの方が多くなってしまいました。というのも、綿密に調査を行ったり、時にはスタッフ間でけんけんがくがくのやりとりもあるようなディスカッションを経て貼り出す事例が少なくなかったからです。おかげで私たち職員が気づかなかった問題点が明らかになり、ともすれば惰性に陥ってしまう図書館業務を日常的に見直し改善していく契機になっています。紙面の関係上すべての回答をご紹介しますので、そのうち半分ほどの手紙とその回答を掲載させていただきます。

生協の白石さんをイシキしているみたいで、アレですね。

そうですね。生協の白石さんに感化されたことは間違いありません。

だけど、単なる白石さんの二番煎じにはならないように注意しているつもりです。

白石さんは、生協に関すること以外のことで、見事なウィットで答えています。「きくみみくん」には、そんな感覚を持ち合わせていません。

白石さんと共通している点は、マジメに誠実に答える姿勢だと思っています。ただし、図書館に関すること以外のことにはお答えしないようにしていますので、この点は白石さんと違ってきます。

それと、きくみみくんへのお手紙に対する回答は、どんなものでも担当者間で話し合い、最終的に責任者のチェックを経て張り出していることです。個人的な回答ではないということです。

きくみみくんへの手紙とその回答を通じて、日常的に利用者とのコミュニケーションを図り、図書館を身近に感じてもらうために誕生させました。きくみみくんを通じて、常により利用しやすい環境、よりよいサービスを行っていく決意です。どうか、きくみみくんをこれからも応援して下さいね。

もっと小説とかおいてください!!

ご要望ありがとうございます。

あなたと同じような要望は「きくみみくん」を置くようになってすぐに2通寄せられました。その回答にも書きましたが、図書館の予算が少なく小説にまでまわらないのです。外国の小説の翻訳であれば、24言語の専攻語がある外国語大学ですから、できるだけ購入するようにしていますが、日本語のものとなると、なかなか購入には至りません。大学図書館ですから、やはり学術図書の購入が優先されるのです。昨年度、図書館経費で購入した図書はたったの1,570冊です。

この2月から箕面市立図書館との協力で、市立図書館の本をインターネットで予約してもらえば、外大図書館で受け取り、返却もできるというサービスを始めます。「小説とかを読みたい」と思っておられる方にも喜んで頂けるのではないかと思います。専用貸出券を発行してもらうために、一度市立図書館へ行ってもらわねばなりません。これも改善していく予定です。どうぞご利用ください。

韓国語の新聞が外大に置いてないということが、ちょっと理解できません。韓国の新聞を置いてください。

ご要望ありがとうございます。

購入希望に関するお手紙は、これまで何度もいただいて、その都度同じような回答をしているのですが、きくみみくんが即回答できる問題ではないのです。「リクエスト制度」になっていますので、まずリクエストして下さるようお願いいたします。

韓国語の新聞を読みたいというご希望ですが、図書館では 24 の開設専攻語の新聞くらいはすべて揃えたいと思っています。しかし、財政事情が厳しくスペース面でも新聞を保存できる余裕がありません。

現在、図書館に置いている日刊の外国語新聞は、英字新聞（国内発行）3 紙、中国語新聞 1 紙、ロシア語新聞 3 紙、フランス語新聞 1 紙です。このうち、ロシア語の 3 紙は、図書館間で外国語新聞を分担して採ることが取り決められており、本学はロシアの新聞を担当しているためです。フランス語紙は研究費で購入されているものを図書館に置いています。このように現実には、なかなか厳しいものがありますが、リクエストされたものはきちんと収書作業部会で採否を検討いたしますので、諦めずにリクエストしてください。

韓国語の週刊誌でしたら、雑誌コーナーに「週刊東亜」を入れてますので、ご利用ください。

ヒンディー語の1年生です。「ヒンディー語小辞典」をいつも予習等に使っているのですが、ボロボロで使いづらいです。ぜひ新しいのに入れ替えてください。ちなみにヒンディー語専攻の 1 年生は my dictionary を持ってないんです。

ご要望ありがとうございます。一度に同じ要望が 5 枚も寄せられたので驚きました。

本の購入希望については、きくみくんへの手紙に何度も寄せられています。その都度同じ答えをしているのですが、特定の希望本や、今回のような辞書類（参考図書と呼んでいます）の更新希望がありましたら、2 階閲覧室カウンター前のリクエストボックスにリクエスト本をお書きになって入れてください。

図書館で購入する本の選定は、「収書作業部会」という会議で行っています。収書作業部会は、教員（図書館運営委員会委員）、図書館職員、大学院生（院生協議会選出）から構成され、定期的にリクエスト本を含め、図書館で購入する図書を選定しています。リクエストの結果は、リクエストボックスの側に備え付けているノートに回答します。図書の購入予算は、大学の厳しい財政事情から決して潤沢ではありません。リクエストされた本を全て購入できる余裕がありませんので、その点をご承知おきください。

ヒンディー語小辞典は 5 冊所蔵していますが、なるほど相当酷い状態ですね。いますぐには更新できませんが、新年度になってから予算と照らし合わせ

ながら、順次更新していく方向で検討します。

来年で卒業なのですが、卒業後も自由に図書館や AV ルームも利用できるのでしょうか？土曜日などに来られたら来たいです。

ご質問ありがとうございます。

もうすぐ卒業ですか。何だか寂しくなりますね。卒業してからも本学図書館を利用したいとのこと、もちろん大歓迎です。どうぞ自由にご利用下さい。

図書館では、卒業生にも「Library Card」（利用者カード）を発行していますので、カウンターで申し込んで下さい。ただし、貸出条件は在学時と異なり、貸出期間は図書で 3 週間、雑誌で 1 週間、貸出冊数は 3 冊までとなっています。（「利用案内」12 ページをご覧ください。）

AV ライブラリーの利用もできます。入館時に「Library Card」を提示して下さい。一般市民の方は予約が必要ですが、卒業生は予約なしに AV ライブラリーが利用できます。覚えておいて欲しいのは、卒業生の「Library Card」は 1 年更新であることです。4 月中旬から発行できますので、毎年更新して下さいね。

#### 要望

冬季借出図書返却期限 1 月 10 日を 1 月 12 日に改めてほしい。理由は、1 月 12 日より講義開始のため、講義のないのにわざわざ出向く要あり。

土曜日原則的に開館することを切望する。阪大図書館と比べて、土曜開館の夕方閉館時間も考慮して欲しい。少なくとも阪大並に！

ご要望ありがとうございます。

について

冬休み貸出期限は補講開始日に設定していましたが、補講に来ない学生の方にはご不便をおかけしたようですね。今後は皆様にご不便をおかけすることがないように、長期休業期間の貸出については、通常授業開始日以降の返却期限日にするようにいたします。

について

ご承知のように、本館は土日も開館していますが、授業のない休業期間中の土曜日は閉館しています。土曜日の開館時間は午前 10 時から午後 4 時までです。阪大図書館は 10 時から午後 5 時の開館時間なので、本学より 1 時間長く開館しています。

土曜日の開館時間の延長については、昨年度に実施した利用アンケートの回答によると、日曜開館要

望に次いで大きな要望としてありました。早急に改善しなければならないことだと思っています。とはいえ、実現のためには人件費が必要ですので、来年度中には少しでも改善できるようにと頑張っています。温かい目で見守ってくださいね。

開館時間の延長や日数を増やすことは、アルバイトを使って行うのは無理ですか？僕はアルバイトしたいです。

図書館の仕事に興味をもっていただいて、ありがとうございます。

本が好きな方だと図書館で働いてみたいと思われるかもしれませんがね。

ところで、開館時間の延長や開館日数を増やすためにアルバイトを採用してはとのご意見ですが、現在のところ、図書館では特別な言語の書誌データを作成する際に、大学院生をアルバイトとして雇う以外は、アルバイトの採用は行っていません。

開館時間の延長や開館日数を増やして欲しいという要望はたくさん寄せられており、私たちスタッフも最も力を入れて改善しなければという思いで、関係部局に働きかけています。しかし財政事情が厳しいので一挙には改善が難しい情勢です。もし、要望が認められて開館日数を増やすことができるようになった場合は、サービスの質を落とさないよう、ある程度専門知識や経験のある人にやってもらわなければなりません。

学生の皆さんには、図書館内のもう少し単純な作業があるときにアルバイトを募集しようと思います。また、ボランティアとして学生の皆さんが活躍できる場を提供できないものかと検討していきます。

おすすめの本を紹介してほしい。

ご要望ありがとうございます。

投書された方が「おすすめの本」にこめられた気持ちについて職員で話し合いました。

「おすすめの本」が「学習・研究のために読む方がよい本」であれば、先生方をお願いして、本を推薦していただき、それをまとめてお知らせしたいと思います。

またこれとは別に図書館としては、あるテーマを決めて、それに沿った本をまとめてご紹介するコーナーを作ることができないかと現在構想中です。テーマについてのリクエストもお待ちしています。

もし、「おすすめの本」の意味が違っていたらお

教えてください。

いつも微笑ましく拝見しております。

さて、さっそく本題です。向田邦子さんの母校、実践女子大学の図書館内には「向田邦子」コーナーなるものが設けられているそうです。それに習って、大阪外大出身の作家さん、特に司馬遼太郎先生のコーナーを独自に設けられてはいかがでしょうか。僕は彼の大ファンなのですが、後輩である現在の外大生の間では認知があまりされていないようで…。寂しいのです。生協の書籍部と組んで一大キャンペーンをしかけても面白いと思いますよ。今年は大河ドラマも司馬先生の原作「功名が辻」ですしね。便乗しても良いでしょう。

ご提案ありがとうございます。

司馬遼太郎氏は外大が誇る卒業生ですね。ちなみにカウンター内の時計右脇に掲げられているものは、司馬氏が外大図書館に寄せて書いてくださった温かいメッセージです。この案はさっそく採用させていただきます。まもなくカウンター前の本棚で、第一弾のテーマ展示を行う予定ですが、第二弾は司馬氏に関連する図書を展示することにしたいと思っています。大河ドラマはまさに絶妙のタイミングですね。同窓生ということで身近に感じ、1冊でも多くの司馬作品を手にとってもらえるような展示にしたいと思っています。ご期待ください。

ボース特集とかおもしろそうです。意見が直ぐ反映されていいと思います。

ところで、司書の皆さん方、もしくはきくみみくんのオススメ本は何ですか？参考にしたいのでぜひ教えてください。

「ボース特集」をお褒めいただき大変うれしいです。又、図書館の紹介する本にも期待していただき、ありがとうございます。

ご期待に沿える方法を考えてみようと思います。

今後、外大の先生方に「おすすめの本」を紹介していただき、その本を展示することも計画しています。そちらもどうぞご期待ください。

なお、今後のテーマ展示予定は次のとおりです。

3/1 ~ 4/28 司馬遼太郎関連図書

5/1 ~ 7/30 「ダヴィンチ・コード」とその周辺図書（映画公開に合わせて）

夏休み明け 外大教員おすすめの本

図書の貸出の延長ができるのは大変ありがたいのですが、その手続きの際、必ず現物を持参しなければならない今の制度は本当に不便です。

時に十数冊以上の本を延長のためだけに、はるばる持って来なければなりません。紛失防止策になるかもしれませんが、何とかカード一枚で延長できるように変えてほしいです。信用されていない気がしてとても残念です。

ご要望ありがとうございます。

ご不便をおかけしていることがよく分かりましたので、皆さんにとってよりよい方法を現在検討しています。もう少しお時間をいただけますか？

図書のない状態で延長手続きをすることの問題点は次のとおりです。

- ・他の方の予約が入っていないかを確認することが難しい。
- ・延長ができない種類の資料（雑誌等）であるかを確認することが難しい。

以上のような理由から、当面は今の方法で延長させていただくことをご理解ください。本を借りている方にも、他の利用者の方にも迷惑をかけないような確実な方法をとることができるようになりましたらお知らせいたします。

コピーカードを図書館でも販売してほしい。わざわざ生協まで行くのはめんどです。

ご要望ありがとうございます。カード式コピー機は日常的に使用していない人にとっては確かに不便でしょうね。昨年秋に実施した利用者アンケートでも、現金が使えるコピー機にするか、図書館内でコピーカードを買えるようにしてほしいという要望が寄せられましたので、コピー機の改善を行うことを決めたところでした。

具体的には、3台のカード式コピー機のうち、1台を2月20日以降に、もう1台を新学期の4月に現金使用式コピー機に切り替えます。大学院生専用のカード式コピー機はそのままです。両替機が設置できないので、千円札も使えるものを予定しています。もうしばらくお待ちください。

尚、この場をお借りして、これをお読みいただいている方にお願ひがあります。コピー機で文献を複写する際は、著作権法を遵守するようくれぐれも注意してくださいね。詳しくは利用案内の8ページをご覧ください。

図書館は暑すぎて、また空気も悪いので長時間いることができません。インフルエンザなどの感染も怖いので、適度に換気してほしいです。1階の自習室も同様です。

ご要望ありがとうございます。

「暖房が効きすぎる」という手紙は12月初めにもいただきました。その時のお返事を一部抜粋して下に書きます。どうかご理解ください。

また、換気については必要に応じて窓を開閉していただくと助かります。図書館員は閲覧室・自習室に長時間滞在することができないため、実際に席に座っていらっしゃる方の体感がわかりません。タイミング悪く換気することで、寒い思いをさせてしまうかもしれないため、恐縮ですが利用者の方に換気をお願いしたいと思います。

暖かい日の開館前には少し換気をするようにしたいと思います。ご理解くださいますようお願いいたします。

図書館の暖房設備は灯油をボイラーで燃焼させる蒸気暖房なんです。ボイラーは各棟毎の中央式暖房でして、温度調節が困難なうえに個別制御もできません。点火、消火をこまめにできないのです。点火時には大きなハンマー音も発生します。エアコンのような微妙な温度調整は不可能なのです。壁際設置の放熱器のバブルを開け閉めしたり、窓を開けて冷気を入れるような方法しかないのです。

新聞のバックナンバーを置いてほしいです。日曜日の新聞も読みたいです。

ご意見ありがとうございます。新聞のバックナンバーにつきましては、1月16日前後に「1週間分の新聞をどこかにおいてほしい」というリクエストをいただきました。そのリクエストにお応えする形で、2階カウンター近く（書庫入口付近）に、日本語の新聞5紙と英字新聞3紙を置くようにいたしました。

また、日曜日の新聞につきましては、次のようにしております。

- ・日本語の新聞  
月曜日の朝、月曜日の新聞と並べてブラウジングルームの新聞置き場に掛けます。（通常は夕刊を掛けています。）月曜日の夜にバックナンバー置き場に置きます。
- ・英字新聞

月曜日の朝、上記のバックナンバー置き場に置きます。

祝日の場合は、上記の「月曜日」を「翌開館日」に読み替えてください。

延長したときの罰が厳しいので、もう少しゆるくしてくれ！

ご意見ありがとうございます。

延滞に対する「貸出停止」という罰則ですが、確かに借りたい本をすぐに借りられない時には恨めしく、厳しいと感じられると思います。しかし、一方で、貸出中になっている本を、読みたい、レポートを書くのに使いたい、ゼミでの発表に使いたいと待っている利用者の方もいらっしゃいます。貸出期間3週間（大学院生の方は1ヶ月）の間は、次に利用したい方も我慢して待ってくださいます。しかし、その期間を過ぎた場合は、1日ごとに次に利用したい方の権利を奪っていくことになるのです。

延滞した場合の罰則は、図書館の資料を一人の人が使い続けるのではなく、皆さんで使っていただきたいということを分かっていたためです。

罰則には罰金制度や延滞日×冊数の貸出停止などがありますが、外大図書館では返却を待っている人、延滞した人双方のことを考え、現在の「延滞した日分の貸出停止」が最善の方法とっております。

どうか次に使いたい人のことを考えて、貸出期限内に返してください。

罰則期間についておたずねします。いつもお世話になっています。ところで、延滞期間がそのまま罰則期間になるとのことですが、たとえば、3冊の本を1ヶ月延滞した場合、罰則期間は1ヶ月ですか。それとも3冊×1ヶ月で3ヶ月借りられなくなるのでしょうか？情けない質問ですみません。

罰則期間についてのご質問ですね。

外大図書館では、図書の返却期限から遅れた日数だけ罰則がつき、図書が借りられなくなりますが、冊数は関係ありません。下記をご覧ください。

・返却期限が同じ図書を1ヶ月遅れて1冊以上返却した場合

罰則は返却した日から数えて1ヶ月間

・返却期限が違う図書を1冊以上遅れて返却した場合

罰則は最も遅れた返却期限から数えた日数

図書の返却が遅れると借りたい図書が借りられない、貸出の延長（ただし1回のみ）ができないなど

不便なことが多くなります。返却期限が分からなかった時はカウンターでお聞きください。学内向けサービスをお申し込みいただくと貸出冊数、返却期限等をご自分でインターネットで確認することもできます。

罰則期間を設けるよりも罰金制にしたらいと思え。罰則期間によって本が借りられないのは不便だし、罰金払うくらいなら絶対に期限内に皆返します。新しい本を買う資金にもなるし、いいんじゃないですか。

図書館に具体的なご提案をいただき、大変うれしく思います。

延滞に対して罰金を科す方法は、ビデオ等のレンタル店で一般的に使われていますね。外国の図書館でも取り入れているところは多いです。日本の図書館ではあまり行なわれていませんが、私立大学図書館で取り入れているところが一部ありますが「罰金さえ払えばいつまでも借りていていい」と思っている利用者がいたり、返却時に罰金を請求するため、返却処理が終わるまでのあいだ利用者の方に待っていただかなくてはならないそうです。閉館時に返却ができるブックポストも置かないようにしているそうです。

この他、年1回、まとめて罰金を徴収する大学もあります。未払いのままだと卒業・退学ができないそうです。厳しいですね。

罰金をビデオレンタル店並に高額にすると、抑止効果はあるかもしれませんが、ただ、図書館利用の際に利用者の方にそれだけのプレッシャーをかけてしまうことがよいことなのかは悩むところです。

外大図書館では延滞者に対して、貸出停止のほか、1ヶ月以上延滞している場合は電話（つながない場合は郵便、メール）で至急返却してほしい旨連絡をしています。予約が入っている本については返却期限日後すぐに連絡しています。長期貸出図書をできるだけ少なくするため努力していきたく思います。どうかご理解ください。

借りる時には返却期限日を確認し、延滞することのないように、皆さんが気持ちよく利用できるようにどうかご協力お願いいたします。

今まで自分が借りた本のリストのようなものを卒業するときにももらえると嬉しいです。思い出になると思います。

ご要望ありがとうございます。図書館の本をたく

さん借りてくださっているのですね。図書館職員として大変嬉しく思います。

残念ながら、どなたにどの本を貸し出したという図書館の記録は、返却と同時に消去されてしまいます。これは借りられた図書から利用者の好み・考え方等がわかるため、第三者に悪用されないための対策です。(個人情報保護法や日本図書館協会の「貸出業務のコンピュータ導入に伴う個人情報の保護に関する基準」に基づいています。)ご理解ください。

お役に立てず申し訳ありませんが、ぜひご自身で読書記録をつけてみてください。将来読み返したとき、その時に考えていたことが蘇ってくるはずですよ。

閉館時間の間に掃除機をかけてもらえませんか。

ご要望ありがとうございます。

開館時間中の清掃は確かに集中を妨げるものですね。昨年春までは月末休館日の清掃のみでした。月1回の清掃では汚れが非常に目立ったので、年度途中から週1回のペースで清掃してもらうことにしたのですが、開館時間外の清掃という契約になっていませんでした。来年度から開館時間外に清掃してもらうようにします。

いつも楽しく読んでいます。図書館内外のポスターで、箕面市立図書館の本も外大図書館で借りられるようになったことを知りました。読みたい本を借りる機会が増えたのでいいことだと思います。でも、借りるには「カード」が必要なんですよ？このカードはどこで作れるのですか？外大図書館でも作れたら便利ですが、今は無理ですか？一番良いのは学生証で外大図書館でも箕面市立図書館でも本を借りられることだと思うのですが。他の近隣の市(吹田、豊中等)ともこういうシステムできたらいいですね。

ご質問ありがとうございます。

これまで実施したアンケートの回答にも外大図書館には小説など読みたい本が少ないという声が多数寄せられていましたので、今回のサービス開始は、利用者の皆さんにも喜んでいただけたと思います。

さて、借りるにはもちろん「カード」が必要ですが、作れる図書館は箕面市立中央図書館と東図書館の二館です。インターネットサービス専用のカードが発行されます。外大図書館での発行も検討しましたが、個人情報等の問題から箕面市立図書館だけの発行になりました。

学生証で借りられるのが一番なのはもちろんですが、箕面市立図書館の現在のコンピュータ・システム及び外大のシステムでは対応できないのです。とりあえず1年間の試行ですが、今後改善されることもあると思います。「箕面市立図書館の本を外大図書館で受け取ることができます！」を2階カウンターに用意しています。これをご覧になって、どうぞご利用ください。

また、近隣の市(吹田、豊中等)との連携も視野に入れたいと思いますので、今後もご意見などをお寄せください。

入口ゲートには何の意味があるのですか？

ご質問ありがとうございます。

入口のゲートに「Library Card」を挿入して入館するのは煩わしいかもしれませんね。このゲートは入館される方が利用登録をされているかどうかを判断するための装置です。登録されていない方でも、カウンターでお申し出いただくと、臨時入館証を発行します。どうぞご理解ください。

登録していない人でも入館できるなら、入口のゲートの意味がないのでは？

ご質問ありがとうございます。

入口ゲートは出口ゲートと一体のもの(入退館システム)としてお考え下さい。

本学の図書館は一般市民など「登録していない人」にも広く門戸を開けています。入口ゲートは利用者カードを差し込んで入館できるようにしていますので、一般市民や利用者カードを忘れた方などには、臨時入館証(利用カード)をお渡ししています。

ご質問は、誰でも区別なく入れるなら、何も入口ゲートを設ける必要がないではないかということでしょうか？もし入口ゲートがなければ、そこから退館できますので、貸出処理をしていない図書館の本を持ち出される危険性があります。入口ゲートは入口専用であって、出るときは必ず出口ゲートから出ってもらうためにあるのです。出口ゲートでは貸出未処理本の持ち出し防止機能が付いています。この入退館システムがなかった頃の図書館は、入口にロッカーが置かれていて、筆記具以外の私物は全てロッカーに収めてから入館してもらっていました。現在のように入館者の持込本も含めて私物を持ち込んで利用することができるのは、この入退館システムがあるおかげなのです。

ご質問の内容が、誰でも入館できるのなら、何も

入口ゲートで利用カードを差し込まさせるような面倒な手続きは不必要ではないかという意味にも受け取られます。入口ゲートでの利用カードの差し込みは、これによって利用者数を刻々と記録しており、利用統計の作成のために使っております。また、貸出本の長期延滞者や用件を早急に伝えなければならない人が入館したときにカウンターで分かるようになっていきます。このように、長期延滞者への督促やメッセージの伝達のためにも役立っているのです。

図書館の2FのパソコンにWordを入れてほしいです。印刷もせつかくできるし...

ご要望ありがとうございます。

図書館のパソコンで文書の編集ができればいいのというご意見ですね。大学内のパソコンは利用目的の違いにより配置しています。

- ・教育用（教室）・自習用（コンピュータ学習室）
- ・検索性（図書館）

図書館では皆さんが資料の情報を得る方法の一つとして利用していただくためにパソコンを配置しています。最近ではWeb上あるいはCD-ROMで記事、論文が見られることが多くなりましたので、それらを印刷できるようプリンタを導入しました。図書館内で文書の編集をしたいというご意見も時々ございます。文書の編集などをゆっくりしていただけるよう、昨年の夏には持込のノートパソコンを自習室、閲覧室で使用できる電源付専用スペースを設けました。ノートパソコンを持っておられない方でしたら、総合研究棟4階にコンピュータ学習室がございますのでそちらをご利用ください。

テスト期間中の日曜日に図書館を利用させてほしいです。自宅より図書館の方が効率よく勉強できます。

ご要望ありがとうございます。

日曜日の開館の要望については、一昨年秋に実施した利用者アンケートでも同じ要望がたくさん寄せられました。日曜・祝日などの開館日の増加や開館時間の延長は私たち職員も必要だと思っています。そのためには人件費がかかります。職員のやる気や努力とただでは解決できない問題なのです。来年度はせめて長期休業中の土曜開館や開館時間の延長は実現させたいと検討しているところです、としかお答えできないのがつらいところです。

9:00～開館なら、9:00丁度には普通に利用できる状態であるのが世間の常識です。

ご意見ありがとうございます。

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。昨日は雪による交通渋滞のため職員の到着が遅れ、開館時にいつもの体制がとれなかったことによりです。普段は9時には必ず開館しております。今後このようなことがないように気を付けます。ご了承とご理解のほどお願いいたします。

- ・ノートパソコンのコーナーが便利です。できればインターネットに接続できるようになりませんか？無線LANのルーターを一つ二つおいてくれたら嬉しいです。
- ・回答いただくときの文はとても丁寧で好感が持てるのですが、呼びかけに「あなた」はちょっと「お役所」っぽいのではめたほうがいいかと思えます。

ご要望ありがとうございます。持ち込みのノートパソコンでインターネットに接続できると便利でしょうね。私たちもそのように考え、閲覧室や自習室に持ち込んだノートパソコンからインターネットに接続できるように関係部署へ働きかけています。

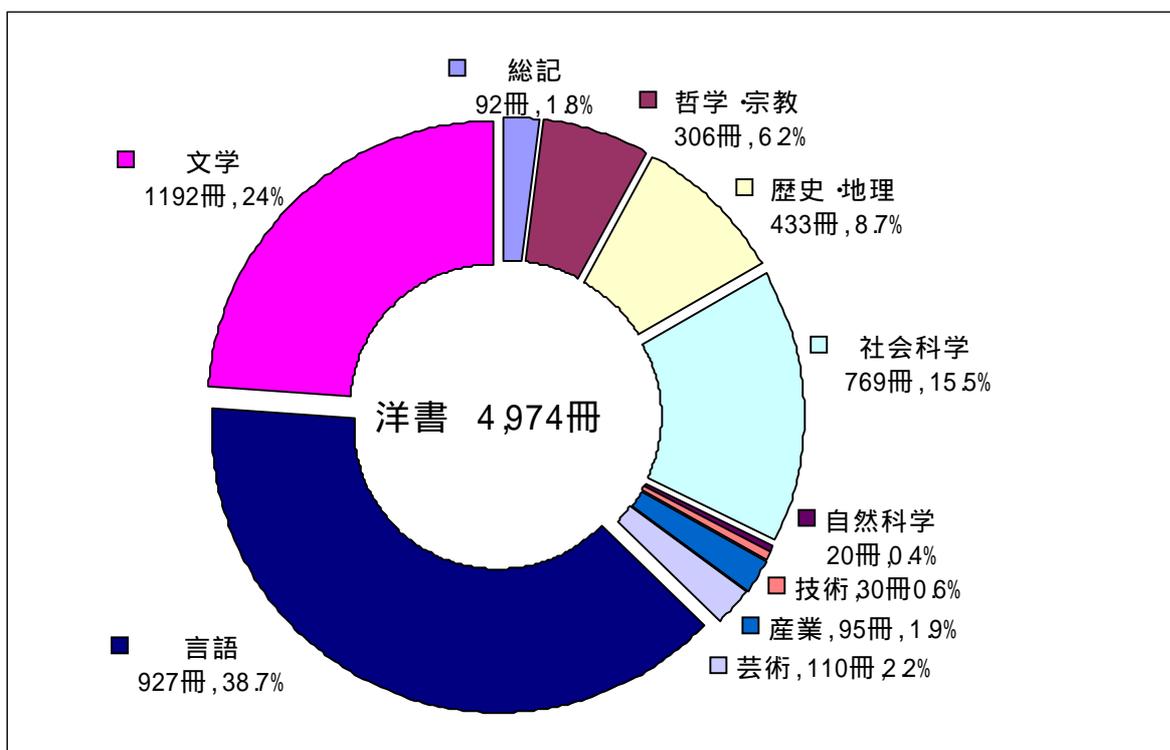
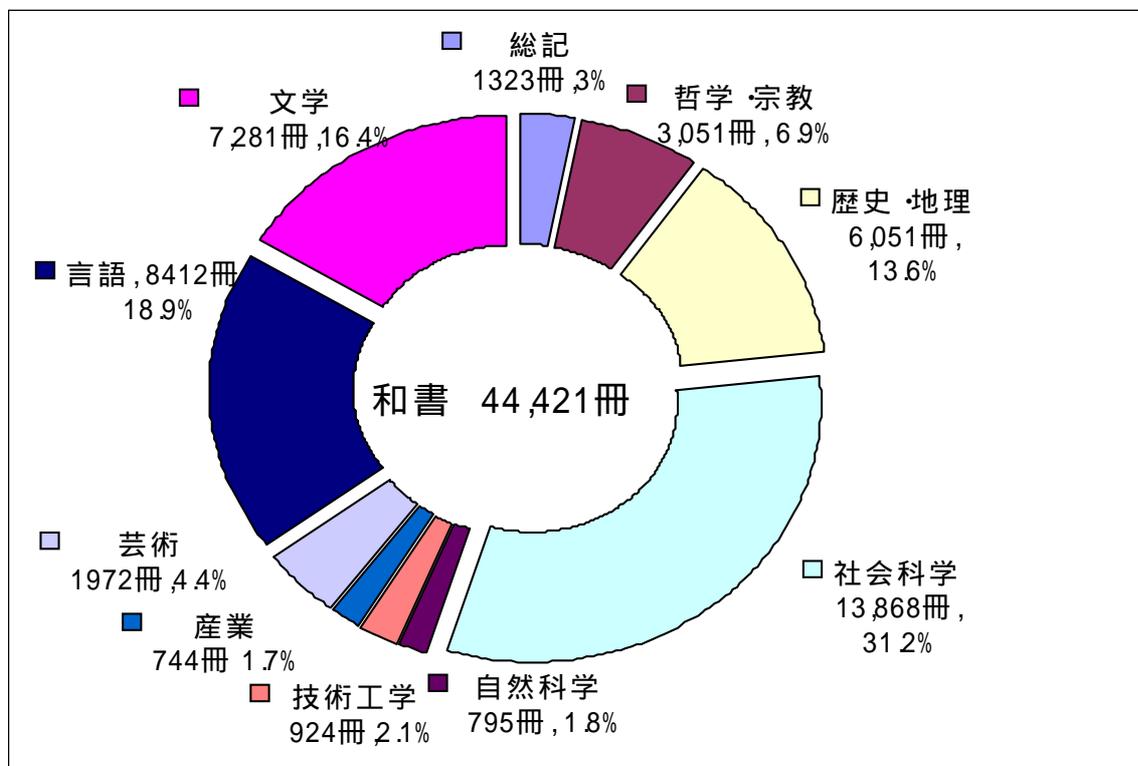
この度、この3月末までに図書館1階の自習室内のパソコンコーナーに無線LAN設備が設置されることになりました。現在のところ、学内でインターネットを利用していただける場所は、総合研究棟4階のコンピュータ学習室だけですが、もう少しするとB棟学生控室からもインターネット接続ができるようになると聞いていますので楽しみに待っててください。

皆様からのお手紙への回答についても、ご感想・ご意見いただきありがとうございます。

毎度、皆様にどのようにお答えすれば早く読んでいただけるのか、いろいろ頭を悩ませています。今回のご意見をお伺いし、今後はその点にも気を遣い回答したいと思います。これからも「きくみみくん」のことをよろしく願います。

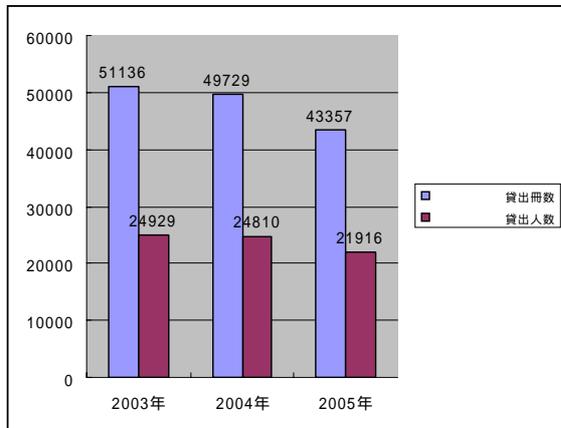


# 平成17年分類別貸出状況

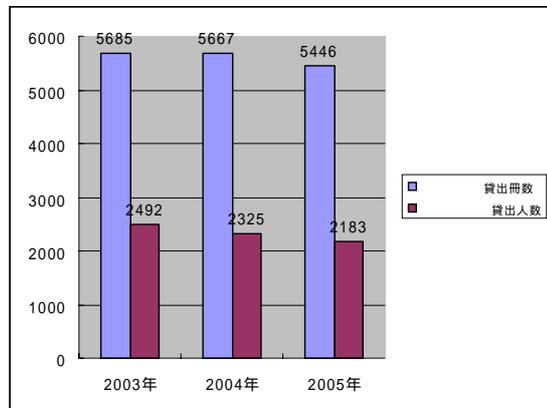


# 利用統計

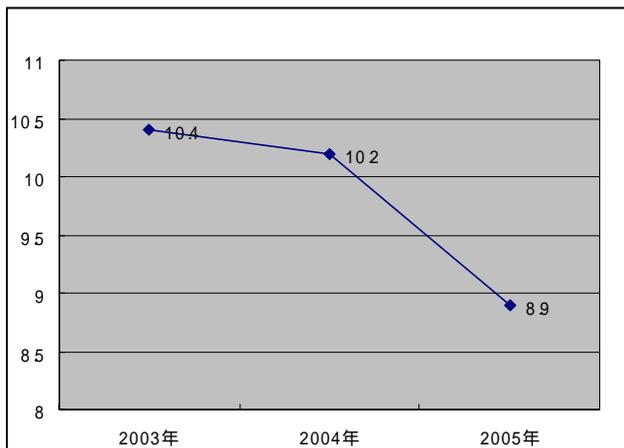
学生への貸出数



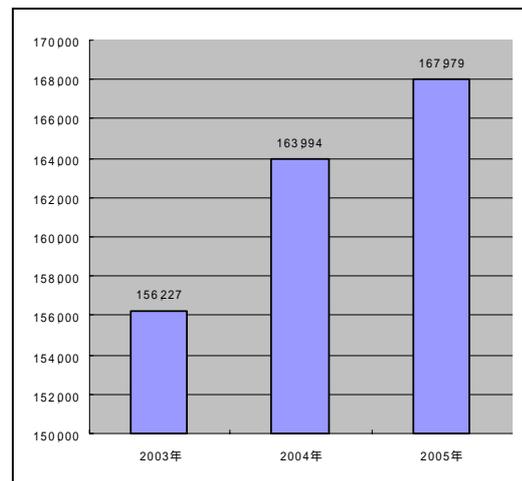
教職員への貸出数



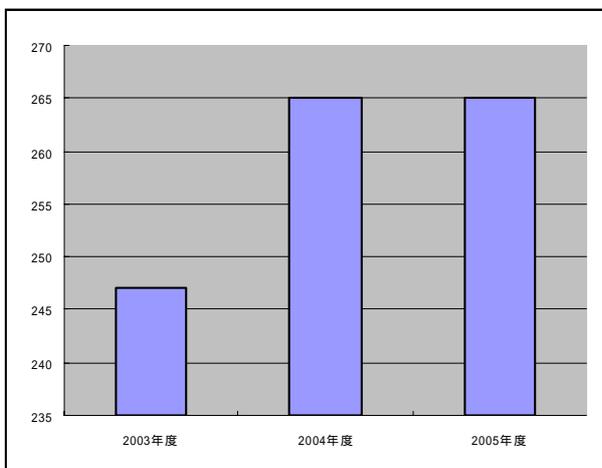
学生一人当たり年間貸出数



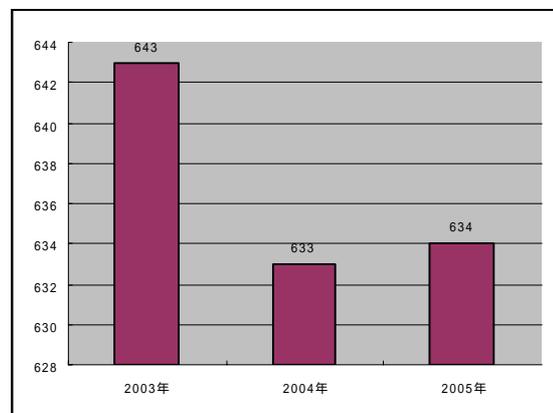
入館者数



年間開館日数



一日平均入館者数



# 平成17年貸出ベスト30冊



貸出回数

1. 日本語のシンタクスと意味(第1巻~3巻) / 寺村秀夫著 [815.9/9]	30回
2. ノルウェイの森(上・下) / 村上春樹著 [913.6/R]	23回
3. 会話分析 / 泉子・K・メイナード著 [801.09/88/2]	19回
4. 認知言語学の基礎 / 河上誓作編著 [801/1457]	19回
5. シェイクスピア全集(全7巻) / 小田島雄志訳 [932/361]	18回
6. 日本語動詞述語文の研究 / 森山卓郎著 [815.5/11]	18回
7. 認知意味論/ ジョージ・レイコフ著; 池上嘉彦, 河上誓作他訳 [801.45/132]	18回
8. アスペクト・テンス体系とテキスト [810.8/30/2-7]	18回
9. アメリカ文学史: コロニアルからポストコロニアルまで / 別府恵子, 渡辺和子編 [930.29/281]	18回
10. 認知言語学原理 / 山梨正明著 [801/1540]	17回
11. 幕末外国関係文書(1-30) / 東京大学史料編纂所編 [210.08/33]	16回
12. 紅樓夢(全12巻) / 曹雪芹作; 松枝茂夫訳 [810.8/30/2-4]	14回
13. 生成文法の基礎: 原理とパラミターのアプローチ / 中村捷, 金子義明, 菊地朗著[801.5/427]	14回
14. 文化初級日本語 / 文化外国語専門学校日本語科著作・編集 [810.7/109]	14回
15. 大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方 / 吉田健正著 [816/123]	14回
16. はじめての認知言語学 / 吉村公宏著 [801.04/523/]	14回
17. 三島由紀夫全集(全36巻) / 三島由紀夫著 [918/302/]	13回
18. モモ / ミヒャエル・エンデ作; 大島かおり訳 [943.7/6]	13回
19. 図説ドイツ語の歴史 / ヨアヒム・シルト著; 橘好碩訳 [840.2/125]	13回
20. モダリティ / 森山卓郎, 仁田義雄, 工藤浩著 [815/391]	13回
21. ヨーロッパ国際関係史: 繁栄と凋落,そして再生 / 渡邊啓貴編 [319.3/84]	13回
22. ダ・ヴィンチ・コード(上・下) / ダン・ブラウン著; 越前敏弥訳 [933.7/1335]	13回
23. 教養のための言語学コース / 小泉保著 [801/1392]	12回
24. 日本語の談話の構造分析 / ポリー・ザトラウスキー著 [810.8/25]	12回
25. 認知文法論 / 山梨正明著 [815/334]	12回
26. 社会言語学入門: 生きた言葉のおもしろさにせまる / 東照二著 [801.03/268]	12回
27. 蒙古語文語文法講義 / 小沢重男著 [829.55/249]	12回
28. 第二言語習得の研究: 5つの視点から/レスリー・M. ビービ編; 卯城祐司, 佐久間康之訳 [807/451]	12回
29. 活着: ある農夫の一生 / 余華 [著]; 大河内康憲編注 [827.7/53/[1]]	12回
30. 日英対照動詞の意味と構文 / 影山太郎編 [835.5/68]	12回

## 大阪外国語大学附属図書館報《Library Information》第18号(Web版)

2006年3月16日発行

〒565-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

電話 072-730-5111(代表)

URL:<http://wwwlib.osaka-gaidai.ac.jp>

お問い合わせ, ご意見・感想等は [tosoumu@osaka-gaidai.ac.jp](mailto:tosoumu@osaka-gaidai.ac.jp)